

2010 天草 つんのでフェスタ

～みんな(男女)つんので和んでまちづくり～

男女共同参画社会の実現を目ざそう！

『2010天草つんのでフェスタ』が2月14日、五和町コミュニティセンター・五和体育館で開催され、約400人が参加しました。これは、市が男女共同参画社会の形成に関する活動への積極的な参加を促進しようと、毎年開催地を変えて実施しており、今年で4回目になります。

五和町コミュニティセンター会場では、講談師・神田香織さんによる記念講演と講談が行われたほか、有明中学校2年・森都花沙さんと五和西中学校3年・木口和華さんが、人権に関する作文を発表。また、火の国未来づくりネットワーク会長の本田節さん（人吉市）を司会・まとめ役に迎え、五和地区で漁業や農水産物の直売所、環境活動などに取り組んでいる市民5

人による活動発表や座談会を実施し、来場者は熱心に聞き入っていました。このほか、鬼の城パーカッションキッズによる太鼓の披露や、五和オカリナサークル・風とイルカのオカリナ演奏、貝がら細工やエコ・コサージュづくり、お父さんによる絵本の読み聞かせ・カステラづくりなども行われました。

五和体育館会場では、天草地域でいろんな活動をしてがんばっている“いき”な個人や団体を紹介するコーナーや、五和地区の小・中学生による男女共同参画をテーマに描いた絵画・イラストの展示、また、フリーマーケットや物産市も行われ、多くの来場者でにぎわいました。



▲“いき”な活動を紹介するコーナー



▲五和オカリナサークル・風とイルカ



▲熱弁をふるう神田香織さん



▲フリーマーケットのようす



▲鬼の城パーカッションキッズ



▲活動発表と座談会では活発な意見を交換



▲貝がら細工、エコ・コサージュづくりを
楽しむ参加者



▶迷路のような細い小路、どうやら

NPO「さいのつ」が発足したのは昨年11月。さいのつとは「崎津」の昔ながらの呼び名で、今富と崎津を含めた富津地区の集落や自然環境などの景観を、維持・保全していこうと設立されたものです。観光ボランティアアガイ

崎津の歴史や風土を知ってもらいたい

河浦町崎津のNPO「さいのつ」（船津智恵子代表）は、崎津を訪れる観光客を対象に、予約制の観光ボランティアアガイドを行っています。崎津特有の歴史やまち並みを、方言を交えながら案内するのがおもしろいと、観光客に評判です。そこで、NPO「さいのつ」が行う、地元ならではのガイドを紹介しましょう。



▲ガイドをする船津代表（写真中央）

でもその一環で、観光客に崎津の歴史や風土を知ってもらおうと、昨年11月から始めました。現在、ガイドは船津代表を含めて4人。2月6日には、埼玉県から訪れた観光客5人に、崎津天主堂のほか、どうやら（家々の間を通る幅約90センチメートルの細い小路）や、かけ（家の海側に、シユロの木などを材料にして組んだテラス）を紹介。観光客は、「ていねいな説明と天草の方言での案内がいいですね」と話していました。



▲家の海側に設置されている“かけ”

船津代表は、「ガイドをする時、荷物にならないお土産を差し上げます」といって、崎津弁をプレゼントするんです。観光客の皆さんにはとても喜んでいただけますね」と話し、ガイドのやりがいを感じているようです。一方で、「いかにわかりやすく、時間内に説明をすることができるか」という、ガイドの『質』を向上させるための勉強会も定期的に開催。「紹介する内容の研究や現場での経験を重ねて、今後、ボランティアの枠を超えた取り組みになればいいですね。また、さいのつの会員も募集中です」と、将来の展望などを話されました。

ボランティアの枠を超えた取り組みを目ざして



～ガイドの皆さんを紹介～
私たちが心を込めてご案内します！



船津智恵子さん



森田哲雄さん



出崎修平さん



山下富士夫さん

お問い合わせは、NPO「さいのつ」事務局の森田さん ☎0229まで

荷物にならないお土産を差し上げます

—河浦町・NPO「さいのつ」のおもてなしガイド—